

牧羊ひろば



防府新田教会 教会学校

●防府新田教会

教会学校の過去、現在

始まりは、教会が創立した一九九二年から数年経ってから、必要を感じた教会員の方が当時担任教師であられた森英樹先生に要望されて、そのために祈って準備していきましようという森英樹先生の掛け声で、始まったそうです。

当初は、ご主人がノンクリスチャーの教会員の方のため、日曜の朝は難しいということ、月に一回CSの時間をとって下さっていたようです。三時や三時半に来て行なわれていたそうです。

最初から、親である教会員の方が補助教師のような形で、教師のための学びを森英樹先生にして頂き、メッセージも順番で担当して色んなことを分担しながら、みんなで力を出し合いながら始めて行かれたそうです。それが段々、日曜の朝に時間を取り分け

ましようということになり、日曜日の朝にCSが持てるようになったのが、二年目頃からだったそうです。

主がCSを祝福してくださって、子ども達が大きくなるにつれてお友達もたくさん来るようになったそうです。特に教会学校の生徒さんのお友達や近所の子がたくさん来るようになって、竹崎光則先生の頃は、パワーあふれる男の子たちでいっぱいだった時期もあったそうです。

後藤が前任の梅原基先生から引き継がせて頂きました時は、信徒子弟を含めて十人前後の子ども達が参加しておりましたが、その子たちが中高生になっていく中で、段々と教会に来なくなりました。年に数回、その中高生の子たちの中から、信徒さんのお子さんが部活や塾や学校のない日にたまに教会に集っているのが励みです。普段は、信徒さんの小学科と幼稚科の子ども達が集っています。

一、通常の礼拝

現在は、教会学校の礼拝を日曜日朝九時十五分から十時十五分に行なっています。まず、お交わりの時間とし

てゲームや工作など（月に一回絵本の読み聞かせ）を九時半まで行つてから、礼拝を始めます。年に何回か、大人の礼拝に合流する時もあります。プログラムとしては、①前奏のうちに黙祷 ②賛美 ③司会者の祈り ④主の祈り ⑤その月のテーマ賛美を、お友達に覚えてもらう目的を持って選曲し、一緒に歌います。⑥み言葉暗唱タイム ⑦メッセージ ⑧賛美 ⑨献金 ⑩頌栄 ⑪牧師による祝福の祈り ⑫お知らせ ⑬分級（幼稚科、小学科、中高科）、です。分級の時間に、ワークや工作をそれぞれの科ごとに行なっています。毎月の最後の週にはお誕生会をしています。

二、主な年間行事

春は、進級お交わり会の時をもっています。一緒に食事をしたりゲームをしたりして、進級のお祝いをします。イースター愛餐会と合流してお祝いした年もありました。

また、礼拝の中で子ども達の祝福を祈る進級式も行なっています。その時には、小学校入学者には新約聖書をプレゼントしています。

イースターにはイースターエッグづくりをしています。用意したゆで卵をお湯にくぐらせてつけるエッグラッピングですが、子ども達も楽しそうです。白いカプセルにお菓子を詰めて隠したエッグハントをした年もありました。

母の日のプレゼント作りもしています。過去には、植木鉢に絵をかいいたり、カーネーションをプレゼントしたり、カードをつくったり、教会の入り口のデコレーションをしてお出迎えをしたりしました。

父の日には、親子で一緒に遊べるものを、と考えて牛乳パックでカエルをつくったり、小石にペインティングしてプレゼントしたり、カードを作って渡したりしました。

夏は、サマーバイブルスクールという、日帰りの教会キャンプをして、朝から夕方ごろまでお友達と楽しくふれ合いの時間を大切に持っています。プログラムの流れとしては、主に、賛美、ゲーム、聖書のメッセージ、昼食、工作、おやつタイムです。昼食のメニューは、スパゲティ、オープンサンド、オニギリなどでした。工作は、プラ板、牛乳パックヨーヨー、万華鏡作りなどをしまし

た。おやつは、かき氷の年が多かったです、パフェや
すいか割りのすいかの年もありました。



2012年 サマーバイブルスクール
プラ板工作

秋は、子ども祝福式を赤ちゃんから小学生までを対象
に行なっています。プレゼントの内容は、その年と年齢
によって違います。プレゼントと一緒に言葉のオリジ
ナルカードや、メダルを作って渡した年もありました。



2013年 子ども祝福式

冬は、毎年子どもクリスマス会をしています。通年、
賛美とメッセージ、ゲームや紙芝居でしたが、二〇一四
年は、クリスマス賛美の後、年配の信徒さんのご指導と
お手伝いの中、おもちを一緒に丸めて食べました。その
後、DVD「おめでどうイエス様」を見て、クリスマス
メッセージを聞きました。帰りには、お菓子にクリスマ
ストラクトを添えて、プレゼントを渡しています。今年
は、初めて来た子どもたちが、聖書がほしいと言うので、
ギデオンの新約聖書を渡しました。

クリスマス礼拝では、以前は、聖誕劇を行なっていたが、最近では、人数の減少と低年齢化、練習時間の確保等の諸事情により、その年に集まる子ども達に合わせ、クリスマス賛美を歌ったり、クリスマス賛美曲を楽器演奏したりしています。



2013年 クリスマス礼拝
子ども賛美

三、教会学校の現状と課題

現在、普段集っている子ども達は教会員の子ども達です。時々ノンクリスチャン家庭の子たちが来ますが、ほ

とんどメンバーは変わりません。一人一人が貴重で、休むと本当にさみしくて祈られています。日曜日の午後からひよこつと近所の子が遊びに来たりはしますが、教会学校にはつながっていません。そのような中、今年、普段集っている子どもたちの中から、三名の子が洗礼を受けました。ただ主に感謝です。継続教育が今の課題です。

また、中高生になった時、どのように導いていくのが課題です。以前は来ていたけれども、今は来ていない子たちには、お誕生日のメッセージカードをCSの先生方とよせ書きをして送ったり、月一回、中高生リフレッシブタイムという時間を設けて、その案内とメッセージカードを届けています。

何よりイエス様につながってあげることが一番なので、私たち教師が心がけている事は、子ども達一人一人のために、神と人々に愛される信仰者に成長してほしいと祈りながら、大切に愛し続けることです。主ご自身が愛されている子どもたちのために、これからも主により頼みつつ主の業に励んでいきたく願われています。

(後藤栄子 一部、後藤健一が加筆修正)